



伊豆中央ロータリークラブ ROTARY CLUB OF IZU-CHUO

週報 第 2631 回例会

2021.3.9 (火) 於 サンパレー富士見

2020-21

RI 会長 柳がー・けん ガバナー 志田 洪顯
会長 土屋 雄三 幹事 土田 哲
会報委員会 兵藤 弘昭・木内 昭夫 望月 隆一

事務所 静岡県三島市中央町4番9号 小野住環境ビル 2F
TEL (055) 976-6351 FAX (055) 976-6352
例会場 ホテルサンパレー富士見 静岡県伊豆の国市古奈 185-1
TEL (055) 947-3100 FAX (055) 947-0564
URL www.izuchuo-rc.org
写真： 柿田川 (伊豆半島ジオパーク)

会長挨拶

会長 土屋雄三



皆様、こんばんは！

昨年の12月の第1週の8日以来の3か月ぶりの例会です。休会中メンバーの皆様にとってどのような生活をして居ましたでしょうか？第3波とも言われました新型コロナの影響は、生活や行動が制限され、不自由であったかとお推察します。仕事において、業績への影響は測り知れず大変な事と思います。春が来ない冬はないことを信じて頑張りましょう！2点ほどお知らせがあります。一つ目は、日々に連日掲載されており、いよいよあと2日になりました、ヤマネコ学舎と3.11を忘れない仲間の会のイベントの状況ですが、昨日進捗状況の連絡がありました。当日、来場者数が読めないという事で入場制限を

する可能性もあるかと思いますが、伊豆中央 RC メンバーの皆さんの時間がつく方はいらして下さいという連絡がありました。当クラブの木内会員の仕事を通してのフライヤーの印刷物の提供は、まさにロータリーの目指している職業奉仕のお手本となる活動だと思います。大変勉強になりました。また、フライヤーが少し足りないという事で、せせらぎ三島 RC 次年度会長予定者の先輩が長泉町長に依頼したところ、町職員にフライヤー書きを指示してくれました。昨日、社会奉仕委員長が市川代表に届けてくれました。知ることよりも実行に移すことは何事にも勝り、大変な困難とそれを乗り越える精神とエネルギーが必要です。ヤマネコメンバーは、東北への思いと自分たちの企画した事業の成功。そして、仲間との絆と地域の絆を今回のイベントを通して感じているようです。当日、お天気に恵まれ、そして、無事東北へ発信できることを願っているところです。私達も、10年前の震災を忘れることなく、日々の暮らし、防災について心新たに考え、備える準備が重要だと思います。

2つ目ですが、三島ロータリークラブから連絡があり、三島の3クラブ合同で三島南高校の甲子園初出場を祝して募金を募りたいというお話でした。そして、同じ学区であり伊豆の国市、伊豆市、函南町からも通学している生徒も多い事から、ポリオ募金の時同様、一緒にやりましょうとお誘いがありました。メンバーの皆様の中にはもう既にいろんな方面から協賛されている方も多いと思いますが、地元を元気にするという観点から、できる範囲で良いと思いますのでご協力お願いします。三島の3クラブ並びに伊豆中央 RC が合同で行うことでロータリークラブの認知度の向上と公共イメージ向上に向けた取り組みをアピールしたいと連絡を頂きました。試合日程、出発日の都合上、本日募金箱を回せていただきたいと思います。しつこい様ですが、できる範囲でご協力お願い致します。

それでは、本日は、中山博司会員と土屋龍太郎会員の卓話です。宜しくお願い致します。

	出席総数	出席率	会員総数
今回	25/26名	96.15%	26名

今回の欠席者
小林 則行会員

卓話

中山博司会員
土屋龍太郎会員



昨年の4月から、大仁地区保護司会の副会長を拝命しました。

FM いずのくに出演と大仁中学生徒の交流会参加と、伊豆市、伊豆の国市長との面談を実施しました。

1、FM いずのくに出演 令和2年12月9日

保護司とは、更生保護活動（保護観察と環境調整）と犯罪予防活動 大仁地区保護司会、定数40名、4部7支部、北高南低 協力雇用主会、保護司確保、再犯防止計画

1、大仁中学生徒の交流会 令和2年12月18日

社会を明るくする運動、法務大臣主唱・自治体単位で活動 むかつくペンギン 仮出獄・保護観察期間、社会復帰 成長過程の中学生 誘惑（スマホ）とストレス（家庭環境）に弱い

1、伊豆市、伊豆の国市長との面談 令和2年11月5日、令和3年1月18日

・保護司会の課題 協力雇用主会の立ち上げと保護司の安定確保 更生保護活動と犯罪予防活動 保護司の職権できることとできないこと 保護司のなり手がいない 75歳定年・2年間に限り延長の議論

・犯罪予防 一般的には犯罪の起きにくい社会づくり、再犯率が高い 再犯防止推進法（議員立法）自治体ごとに再犯防止計画制定 保護司の安定的確保と協力雇用主会の必要性を明示

・社会を明るくする運動（活動強化月間・7月）

保護司と更生保護女性会が主務団体、世帯100円の協力金が原資（合併前の）旧町体制を引きずっており形骸化、再構築を提案

1、協力雇用主（会）とは

・キャリアであることを承知の上で、雇用してくれる事業主 就労支援事業所機構を經由し、保護観察所に登録、地区ごとの協力雇用主会に所属 就労奨励金制度、トライアル雇用、雇用奨励金制度、身元保証支援等

・大仁地区保護司会は、協力雇用主会の立ち上げに向けて準備中

各地区の保護司が近くの事業所に協力要請、声が掛かった際は協力して下さい

・再犯防止対策という観点から、自治体の支援が不可欠。市長から呼び掛けが必要。

スマイル報告

●土屋雄三会長 土田哲幹事

皆様お久しぶりでございます。中山さん、土屋さん本日の卓話楽しみにしております。よろしく願いいたします。

●雨宮演邦パスト会長

会員の皆様からコロナに罹った人が出ないのが何より安心です。これからも気を付けて健康でいたいと願っています。

●小野信会員 原田精治会員 小野憲会員

皆さんお久しぶりです。

●木内昭夫会員

皆さまお元気で何よりです。

●紀平幸一会員

お久しぶりです。皆様元気そうで何よりです。

（本日のスマイル合計 ￥9,000）